

CASBEE[®]広島

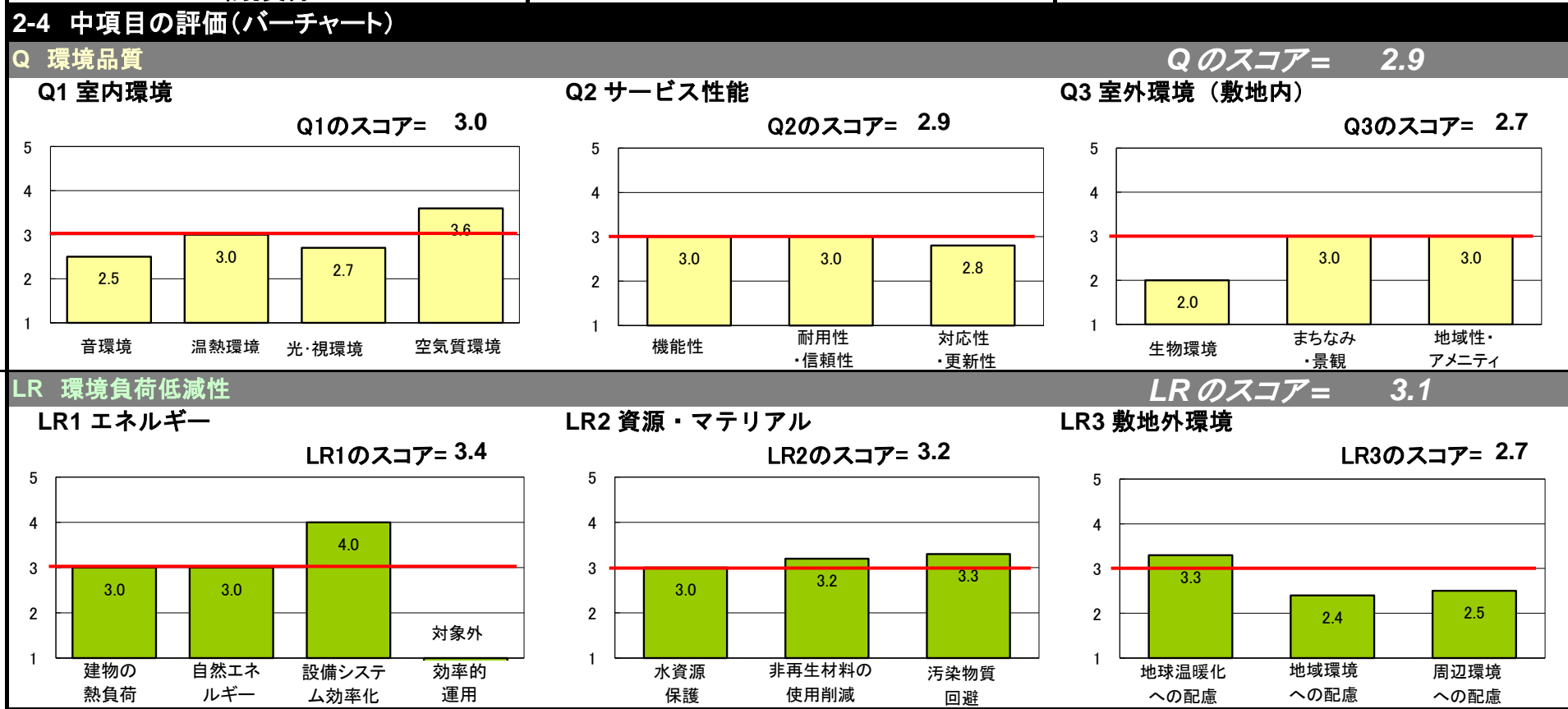
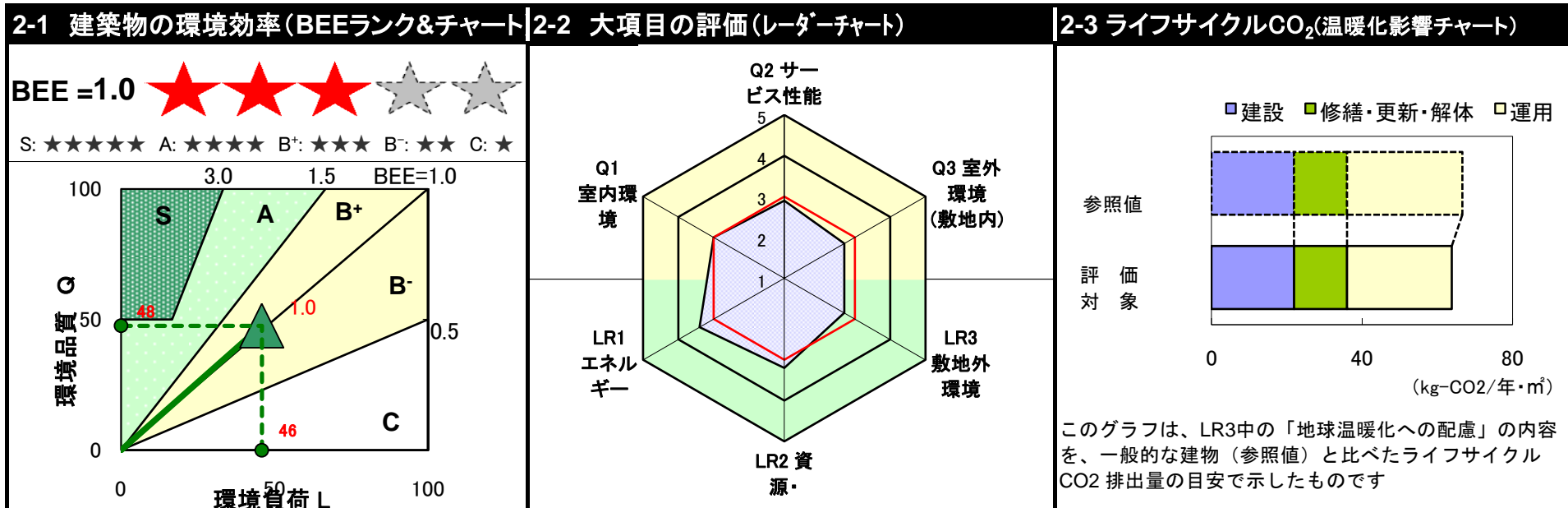
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横川新町ビル	階数	地上11F
建設地	広島市西区横川新町12-2,12-14	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	106人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2013年1月17日
敷地面積	663 m ²	作成者	株式会社真野設計齊藤未奈
建築面積	288 m ²	確認日	2013年1月18日
延床面積	2,245 m ²	確認者	株式会社真野設計真野典彦



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.1

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.2	スコア = 2.3	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能省エネ等級3相当としました。自主基準で熱橋補強を実施しました / 住戸が外皮に2方向面しています。 / 高効率の照明器具を採用しています。 / 照明の点灯方式に配慮しています。 / 極力節水用の給水栓を採用しました。磁器質タイル・集成材・パティルボード等リサイクル材を使用しました。 / 可能な限りCO ₂ 排出を抑制します。	設計の計画上特段に配慮した事項 アプローチ沿いに緑地を設けています / 駐車、駐輪スペースを可能な限り設けています。駐車場の出入り口は見通しが良いように配慮しました。	設計の計画上特段に配慮した事項 内装仕上げ材は、耐久性がありメンテナンスの容易な材料を採用しました。 / 空配管内に配線・呼び線を挿入することで、仕上げ材を傷めることなく通信配線の更新・修繕が出来るように計画しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される